

平成29年7月定例会

五島市教育委員会会議録

平成29年7月26日

五島市教育委員会

平成29年7月定例会会議録

1 日 時 平成29年7月26日(水) 午後1時30分～午後2時31分

2 場 所 市役所3階 第2委員会室

3 出席者 教育委員 吉田茂樹  
教育委員 林田登志子  
教育委員 坂本泰蔵  
教育委員 佐藤清美  
教育長 藤田清人

4 欠席委員 なし

5 会議に出席した者の氏名

総務課長	蓮本光之	学校教育課長	都々木信幸
生涯学習課長	大窄昭三	<del>総務課課長補佐</del>	<del>田脇栄二</del>
学校教育課課長補佐	山口幸一	学校教育班係長	松崎英憲
学務係長	江頭康一	<del>生涯学習推進班係長</del>	<del>尾崎克厚</del>
生涯学習推進班係長	石田厚広	<del>福江幼稚園長</del>	<del>堤智代子</del>
富江分室長	松坂正章	玉之浦分室長	近藤健二
三井楽分室長	立本清	岐宿分室長	松下繁信
<del>奈留分室長</del>	<del>八代英文</del>		

(合計/書記含め12名)

6 欠席者 ~~————~~で消去

7 傍聴者 なし

8 書記 総務係長 池本佳孝

## 9 議題及び議事の概要

- 教育長（藤田 清人）が開会を宣告（午後 1 時 30 分）する。

教育長が前回会議録の承認について議題に供し、蓮本総務課長が 6 月定例会の会議録を説明の後、教育長が各委員へ審議を諮ったが、質疑、意見もなく承認された。

- 藤田教育長から次のことについて報告がなされた。

- 1 7 月定例校長・園長会について（7 月 3 日）

小中学校学習指導要領改訂に向けた学校の取り組み方について協議を行いました。小学校は 3 2 年度、中学校は 3 3 年度に完全実施となるため準備を進めているところです。

- 2 第 3 回教頭・主幹教諭研修会について（7 月 7 日）

- 3 社会を明るくする運動中学生・高校生弁論大会について（7 月 8 日）

- 4 浜窄小学校指導訪問について（7 月 10 日）

授業参観、帳簿点検、先生方との教育懇談を行いました。

- 5 海と日本プロジェクト 2017 サポートプログラムについて（7 月 14 日）

児童総勢 1 0 8 名、崎山小学校で開催されました。海やエネルギーについて学習を行いました。

- 6 久賀小中学校「海の会」について（7 月 17 日）

- 7 第 2 回長崎県都市教育長協議会について（7 月 18 日～19 日）

議題として準要保護世帯に対する就学援助の新入学用品費に係る単価の増と入学前実施への対応、学校の空調設備整備状況、学力向上のための各市の具体策についてなど協議しました。一部は後ほど事務局より説明があります。

- 8 高校生議会について（7 月 21 日）

五島高校、海陽高校、五島南高校、奈留高校、鶴南特別支援学校が参加し、教育関係では、廃校となった学校の今後の活用方法について、高校生が五島に戻ってきたくなるような五島の魅力の再発見につながる学習プログラムについて、伝統文化の継承に係る継承者の確保対策についてなど活発な質疑が行われました。

- 9 県中総体視察について（7 月 22 日～24 日）

県内各会場で 7 種目の競技を視察してきました。結果については、後ほど事務局より説明があります。

- 教育長が、議案の審議に入る旨述べる。

議案第45号 五島市教育振興協議会委員の委嘱について

教育長

議案第45号について、説明をお願いします

蓮本課長

議案第45号について説明。

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

議案第46号 五島市公民館運営審議会委員の委嘱について

教育長

議案第46号について、説明をお願いします

蓮本課長

議案第46号について説明。

大窄課長

補足説明。（委員追加の理由）

教育長

ただ今の説明について、質疑はありませんか。

全委員

ありません。

教育長

特にないようですので、この件につきましては、承認することにいたします。

以上で、本日提案された議案の審議は終了いたしました。

- 「その他」として次の報告・質疑がなされた。

## 蓮本課長

### ①総合教育会議について

案内のとおり7月31日に平成29年度第1回総合教育会議を開催します。  
後ほど勉強会を行います。

### ②8月の定例教育委員会について

8月18日（火）に開催予定としています。

## 都々木課長

### ①県中総体結果報告について

配布資料のとおり。例年のことですが、柔道の活躍が目立ちます。

### ②全国中学校総合文化祭神奈川大会について

崎山中学校が参加します。チャンココを披露することになっています。

### ③新規ALTの紹介

配布資料のとおり。新しく4名が配置されます。うち女性が3名です。1名は奈留小中学校が拠点となります。

## 松崎係長

### 1学期学校生活アンケート結果報告について

いじめの認知件数ですが、小学校が84件、中学校が94件ありました。このうち未解消件数は小学校が10件、中学校が1件でした。今年3月14日に改定された「いじめの防止等のための基本的な方針」では、いじめ問題の解消の定義について、いじめに係る行為が少なくとも3か月止んでいること、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこととしています。未解消の11事案はどれも解消に向かっていますが、この規定により経過観察を行っている事案となります。子ども達がより安全に安心して学校生活を送れるように今後も各学校へ指導していきます。

## 山口補佐

### ①奈留しま留学生の契約解除について

しま留学生の1人が契約を解除して、母親が奈留島へ移住して一緒に住むことになりました。解約時期は8月下旬としています。契約解除の理由は非行行為とかではないのですが、生活態度に改善が見られず、しま親が責任を持って養育することが難しいと協議会に申し入れがあったことによります。これは、しま留学委託契約書の第13条3の規定に該当すると判断し、しま親、親、協議会会長等と協議して決定しています。

②複式等支援非常勤講師の配置について

今年度、予算は確保していましたが、人材不足で配置ができていませんでした。  
本山小学校へ5月から、三井楽小学校へは9月から配置できるようになりました。

大窄課長

①社会教育委員会について（7月7日）

事業や社会教育全般にわたり貴重な意見をいただきました。

②第4回新図書館整備基本計画検討委員会について（7月13日）

委員から先進図書館視察の報告と計画の基本的な考え方について承認をいただきました。今後、基本方針（規模や場所など）の具体的な検討にはいります。

③図書館協議会について（7月14日）

④福江大水害50周年写真パネル展について（6月7日～7月30日）

見学者635名（7月23日現在）

⑤小学生交流宿泊体験学習事業について（7月25日～27日）

小学生6年生21名が参加し、宮の森総合公園で実施しています。

⑥日本の宝「しま」交流支援事業について（7月31日～8月3日）

県内の子ども達59名が参加し、三井楽と奈留に宿泊して様々な体験活動を行い、地元の子供達とのふれあい交流もあります。

⑦各地区子どもスポーツ大会について（8月6日）

⑧中学生国内体験学習事業について（8月22日～25日）

松坂富江分室長

富江町少年少女体験隊について

7月24日に小学生15名の子ども達が参加し開催しました。内容は、海での貝ほりや川でのウナギとりなどを実施し、自然に触れ合う良い機会だったと思います。取材も来ておりNHKでは報道もされました。

立本三井楽分室長

三井楽中学校生徒による「平和のともしびin三井楽」について

8月7日に平和への祈りを込めて手づくりキャンドルを点灯します。

松下岐宿分室長

元プロフットサル選手とのイベントについて

教育長

それでは、冒頭の教育長報告でも触れましたが、長崎県都市教育長協議会の議題であった準要保護世帯に対する就学援助の新入学用品費に係る単価の増と入学前実施への対応について、五島市の状況の説明を事務局より説明をお願いします。

池本係長

今年度より国の要保護児童生徒援助費補助金の新入学児童生徒学用品費の単価の増額と支給時期に関する要綱の改正がありました。改正に伴い、市が実施する準要保護児童生徒に対する就学援助について、各市の対応状況について議題提案をしています。

五島市の対応状況としては、国に準じて実施しています。単価の増については、29年度新入学生から増額した単価で支給しています。また、入学前実施については、30年度新入学生より実施することとしています。

そのほか、準要保護世帯への就学援助について、対象者数、認定率、単価など五島市の状況を説明。

教育長

以上が各課からの報告になりますが、何かご意見やご質問はございますか。

吉田委員

学校教育課から説明があったいじめの問題ですが、件数を聞くと五島市でのいじめの件数は多いように思ったのですが、いじめの内容はいろいろあるかと思いますが、どういったものがあるか教えていただきたいと思います。

松崎係長

まず、件数が多いか少ないかという判断ですが、いじめ問題が大きな社会問題になった頃から細かい事案についても、受けた方がいじめられたと感じた場合は、いじめとして件数にあげるといような姿勢で取り組んでいますので、小学校で84件、中学校で94件というのは、今までよりもひどくなったという捉え方は教育委員会ではしておりません。かえって、細かく子ども達の様子を見ている結果なのではと捉えています。いじめの内容については、一番多かったのは小中学校とも同じで「ひやかし」「からかい」「悪口」「脅し文句」「いやなことを言われる」が7割を占めています。他には「仲間外れ」や「軽くたたかれる」というものがあげられています。

吉田委員

解消率としては高い解消率だと思います。未解決分が小学校で10件、中学校で1件あるということですが、この事案は解消しにくい事案とい

うことでしょうか。

松崎係長

未解消の事案については、各学校から詳しい状況をあげてもらっています。それを見て課内で協議していますが、これは解消しているのではないかというような事案もありました。「いじめの防止等のための基本的な方針」では、目安として3か月間いじめに係るような行為が止んでいるという定義がありますので、それに基づき未解消としてあげて、今後とも注意深く経過観察をしていくこととしています。

吉田委員

わかりました。現場としては大変でしょうけれど、解消率100%に向けて取り組んでほしいと思います。

次に、奈留のしま留学の契約解除の件ですが、理由はしま親の言うことを聞かないなどがあったと思うのですが、このことが現在在籍している児童生徒に影響があることはないですか。

山口補佐

その辺りは心配をしていました。契約解除については、結論がでる段階まで本人と子ども達にも伏せていました。最終的に母親が奈留島に来て一緒に住むことになり、引き続き通学することになりましたので影響はないものと考えています。

吉田委員

わかりました。しま留学で4人の子ども達が来たことで、地元の児童生徒が活発になったというような良い傾向を聞いていますので、今後とも推進していただければと思います。

次に、生涯学習課関係ですが、交流宿泊体験学習事業が昨日から奈留島で行われていますが、参加者が21名ということで去年と比べてかなり少なくなっているようです。6年生と限定せず、5年生にも参加を呼び掛けて参加人数を増やしていただければと思いますがどうでしょうか。

大窄課長

今回の参加人数が少なかった原因については事業終了後に検証したいと思っています。そのうえで、参加人数の増加のため5年生も対象とするような判断が良いということになれば検討したいと思っています。

都々木課長

これは反省材料なのですが、実は学校教育課で実施しているジュニアイングリッシュキャンプが昨日行われましたが、この日程との関係も今年の交流宿泊体験学習事業の参加者が少なかった理由の一因ではないかとも思っています。今後、各種事業の日程調整の際は他課との調整も考えてやっていきたいと思っています。

坂本委員



学校生活アンケート結果ということで、いじめについての説明がありましたが、アンケートの結果としては他の調査項目もあったものと考えています。気になるのがスマホとかの利用状況や家庭におけるゲーム時間などがありますが、調査結果があるのであれば前回との比較とか興味がありますでしょうか。

松崎係長

実は、学校生活アンケートは、名前からして学校生活全般に関する調査に見えますが、この調査はいじめについてのみの調査で、目的としていじめの早期発見、早期解消につながるように各学校における認知件数を把握するような調査になります。

坂本委員

わかりました。学校教育課としては、スマホとかゲームとかの調査については定期的には行っていないということになりますか。

都々木課長

そのことについては、別の調査で県が行う学校運営調査というのがあります。年に1回の調査になります。スマホとかゲームについてはその調査で結果がでていきますので、8月の定例会の際にまとめて提示したいと思います。

坂本委員

気になる調査結果があれば次回教えてください。

次に、中学生国内体験学習事業についてですが、中学1年生を20名選考するということですが、各学校に最低1名ずつは枠があるということでしょうか。

大窄課長

希望枠を設けての選考となっています。年度によっては、極小規模校だと2校で1名というようなこともあり得ます。

坂本委員

日本の宝「しま」交流支援事業について、地元の子ども達とのふれあい交流体験とありますが、地元の子ども達というのは開催場所の三井楽と奈留の子どもということになりますか。それとも市全体の子どもを指しますか。

大窄課長

今年度は三井楽と奈留で実施しますので、三井楽と奈留の子どもと理解していただければ結構です。

坂本委員

それでは、他の学校の子ども達は交流体験はできないということになりますか。

大窄課長

この事業は、県が3か年の事業で実施をしまして、それぞれの地区を巡って実施してきています。もともとは地元の子供達と交流するということがなかったので、今年度は交流事業のプログラムを付け加えさせてもらっています。

佐藤委員

準要保護世帯で就学援助を受けている児童生徒数が五島市では約4人に1人の割合ということで説明がありましたが、人数は年々増加していますか。また、全児童生徒数に占める認定率が県内で1番高いということですが原因は何になりますか。

池本係長

人数については、全児童生徒数が減少傾向にあるのであまり変わりませんが、認定率でいくと年々若干上がってきている状況です。先ほど県内で認定率が1番高いということで説明させていただきましたが、県内では20%を超えているのは五島市と長崎市だけになります。高い理由としては、明確な理由が分からないのですが、単純に世帯の収入が低いということや就学援助に対する意識の違いがあるのかとも考えています。

教 育 長

他にないようでしたら、以上をもちまして、本日の7月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後2時31分)